



「三人十色」とは、
世界を駆ける和楽器奏者
内藤哲郎(和太鼓)、
木村俊介(笛・津軽三味線)、
小野越郎(津軽三味線の
三人からなる「三人十色」。
自熟した人魂のライブは
回を重ねるごとに完成度も増し、
和楽器の新しい可能性を切り拓く。

とき

4月22日(月)
18:30 開場
19:00 開演

ところ

須崎市立市民文化会館
大会議室
高知県須崎市新町2丁目7-15
TEL 0889-43-2911

チケット

一般 2,500円
高校生以下 1,500円

お問合せ・チケット・予約
三人十色ライブ実行委員会
長谷川 090-1002-6107
森 090-4971-6933

TETSURO
NAITO



和太鼓

◆内藤哲郎

02年春まで佐理を拠点として和太鼓集団「鼓童」に在籍。在籍中は演奏のみならず作曲や演出などの評価も高く、CDには数多くの名曲が残されている。その後独立。持ち前の技術や独自のセンスを活かし、再燃敏生、DJクワンタ、ソウルアワーズユニット、また吉田兄弟など数々のミュージシャンとのレコーディングやツアーに参加し、ジャンルにとらわれない幅広い活動を展開している。一方で「日本的なもののば」という本質的な問いかけに真摯に向かい、演奏という形をとって和太鼓という極めて原始的な楽器を駆使した表現やその魅力・可能性を追求し続けている。

(内藤哲郎website) <https://tetsuronaito.com>

ETSURO
ONO



津軽三味線

◆小野越郎

秋田県仙北市生まれ。18歳より津軽三味線と山田千里節に師事し、本橋青森県は秋前にて修行と研鑽。秋田わらび座の三味線奏者として活動の拠り所。その後宮城県を拠点に、伝統曲・自作曲を織り交ぜたソロ演奏活動を開始。世界的な民謡音楽フェスティバル「WOMAD」とはしめ、これまでに20回以上の音楽祭などに招待出演し好評を得る。津軽三味線の持つ力強さや独特のリズム・音色の多面性を基にした自作曲にも定評がある。またエフェクターやランプアンプを使った演奏表現も得意とし、様々な音色を駆使しながら独自の表現を求めて創作活動と続けている。

SHUNSUKE
KIMURA



笛・津軽三味線

◆木村俊介

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・音楽監製等を行う。演劇や舞踊など、様々な舞台の音楽と担当する他、自主公演では、国内外からの多様なアーティストと共に、文学・絵画などをモチーフとした斬新かつ独創的な作品を奏演し続けている。これまでに、世界35か国にて演奏。

20年より、エッセーとCDによる合算制季刊誌「音之文」(オトノフミ)を発行。
22-23年演劇クラブ「座」の舞台「ハーンの面影」[橋田寿賀三脚本]等の音楽を担当。
23年カザムの村 涼明氏との日韓定期開催LIVEプロジェクト「調の橋の上で」をスタート。